

[TOP page](#)
[資料室](#)
[イベント情報](#)
[講師を探す](#)
[Worker's 広場](#)
[関連リンク](#)

## 資料室


[HOME](#) | [資料室](#) | [一般教養](#) | [自己啓発](#) | [ドロッカーの思想②](#)
[労働組合](#)
[労働者福祉・共済](#)
[一般教養](#)
[社会保障](#)
[労使トラブル法律相談Q&A](#)
[労働関係法](#)
[経営全般](#)
[人間関係とコミュニケーション](#)
[ライフプラン](#)
[男女共同参画](#)
[公務員関係法](#)
[日朝の歴史](#)
[7つの習慣](#)
[中東の歴史](#)
[ボランティア活動](#)
[環境活動](#)
[社会貢献活動](#)
[自己啓発](#)
[生涯学習](#)
[外交・防衛問題](#)
[資本論](#)
[教育カリキュラム](#)
[日本国憲法](#)

### ドロッカーの思想②

ドロッカーが伝えたかったヨーロッパとは…。

ヨーロッパの歴史を考えるうえでは、産業革命の時代まで遡らねばならない。

1776年にジェームズ・ワットが蒸気機関を発明したのを機に、生産手段が大規模化し、大量生産が行われるようになっていく。

これがいわゆる産業革命である。

産業革命の起こった1776年は、アダム・スミスによる「個人がそれぞれ自己の利益を追求し自由に経済活動に励みさえすれば、結果として社会全体の利益が達成される」という「ブルジョア資本主義」が誕生した年とも重なる。

しかし、実際には社会全体が豊かになるのではなく、生産手段を持っている資本家だけが豊かになっていった。

それに不満を感じた人々のなかには「生産手段を資本家の手から労働者へと奪い返せば、格差が解消され、すべての人が幸せになれるはずだ」という新しい理想を掲げる者が出てきた。

それが「マルクス主義」だ。

しかし、マルクス主義もうまくいかなかった。

ロシアでは第一次大戦中、社会主義革命によって生産手段を労働者が奪い取ったものの、実際には一部の特権官僚階級だけが潤い、大衆は貧しいままという結果に終わってしまう。

結局、資本主義と社会主義が対立し戦っているように見えてはいたが、そのどちらも人間を幸せにしてはくれなかったということにドロッカーは着目する。

そして彼は、資本主義も社会主義も人間を幸せにしなかった理由を「どちらのシステムも“経済至上主義”を基本にしていたからだ」と結論付けた。

経済至上主義とは経済、つまり金の流れを中心とした社会のことだ。

経済のために生まれて経済のために死ぬ…そういう世の中のことだ。そこには人間というものが存在しないとドロッカーは見抜いた。

資本主義と社会主義のどちらにも失望したヨーロッパの人々が「脱経済至上主義」として救いを求めたのが、国家社会主義という名の「ファシズム全体主義」であり、そこにヒトラーが言葉巧みに付け込んでヨーロッパ全土を席卷していったのである。

ドロッカーは第一次大戦後の世界の状況を見て、国家社会主義の本質は、軍国主義や弾圧や暴力ではなく、「脱経済至上主義」にあったと考えたのである。

こうした考えをまとめたのが、アメリカで1939年に出版した第一作「経済人の終わりー全体主義はなぜ生まれたか」である。

(つづく)

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

### Worker's Library 会員登録

お申し込みはこちらです。

>>一覧へ戻る

傾聴

語り部スキル

🔍 キーワード検索はこちら

📄 サイトマップ   🔍 このサイトについて   🛡️ 個人情報保護の取組みについて

🏠 ページTOPへ

TOP page

資料室

イベント情報

講師を探す

Worker's広場

関連リンク

**Worker's Library** 静岡で働く人のための資料閲覧サイト  
JAPANESE TRADE UNION COFEDERATION DB SITE **【ワーカーズ・ライブラリー】**

Copyright© WORKER'S LIBRARY All rights reserved.